

令和5年度  
舞台芸術等総合支援事業  
( 劇場・音楽堂等機能強化総合支援 )

自己点検報告書

団 体 名	公益財団法人兵庫県芸術文化協会兵庫県立芸術文化センター	
施 設 名	兵庫県立芸術文化センター	
助 成 対 象 活 動 名	ひょうご「心の広場」ステップアッププロジェクト	
助 成 期 間	5	(年間)
内 定 額	52,533	(千円)

# 1. 事業概要

## (1) 事業計画の概要

### 全体図 (概念図)

#### ひょうご舞台芸術魅力拡充事業

(平成31年～令和2年度)

開館からのにぎわいの安定・継続  
と新たなチャレンジ

にぎわい続ける劇場であり続ける

(安定・継続)とともに、新たなチャレンジ  
により県民生活の質的向上

#### ひょうご「心の広場」ステップアッププロジェクト

(令和3年～令和7年)

開館20周年に向けた「新たなステージ」の取組

・コロナ禍での舞台芸術の継続の模索

⇒劇場空間での鑑賞による感動の提供・人のつながり

・開館20周年に向けたにぎわいの安定・継続(プロデュース力とフロンティア力)

⇒飽きさせない新しさの提供「人生を通じて楽しめる劇場空間の創出」

#### 国際水準の創造発信

本格的創造公演による楽しさを感じる劇場  
他では観られない楽しさ、醍醐味、新しい発見  
ワクワク感の醸成

(芸術監督プロデュースオペラ(国際水準))

(普及系プロデュースオペラ(中ホール))

(CuttingEdgeKYOGEN(演劇的古典芸能))

アウトカム

- ・トップレベルの劇場として実績継続
- ・我が国の実演芸術の国際プレゼンスに貢献
- ・県民生活の質的向上、芸術文化を通じた地域創生推進
- ・地域拠点劇場として、にぎわいづくりの核となる
- ・芸術文化を通じ、心の豊かさを実感できる社会の実現

#### 人材養成

次世代の担い手育成とまちのにぎわいを作る劇場

アートマネジメント、舞台技術の継承と地域創生

・管弦楽団アカデミー要素の発揮、アンサンブル力強化

市町文化施設スタッフのスキルアップ、連携強化

(シーズン・オープニング・フェスティバル)

(小学校・特別支援学校へのアウトリーチ)

・大学(芸術文化観光専門職大学)等との連携

劇場での実務体験受入、大学での講義実施

・地域の人材・組織の活用・支援

(普及系プロデュースオペラ(中ホール))

アウトカム

- ・人材を育て、世界に発信するアカデミー機能の充実
- ・実演芸術における専門的人材育成

#### 舞台芸術の普及

親近感と期待感を感じる劇場

舞台芸術のわかりやすい紹介

子どもたち(次世代)へのアプローチによる拡がり

・子どもたち(次世代)へ

子どもの日コンサート

バックステージツアー

・レクチャー事業(ハイライトコンサート、プレレクチャー)

・特色あるシリーズ企画

(世界音楽図鑑、クリスマスジャズ、ステップシリーズ)

・低料金で親しみやすい良質な公演(ワコイン・コンサート)

アウトカム

- ・劇場を核としたまちのにぎわいの創出
- ・地域の拠点劇場として文化振興の核となる

#### ネットワーク形成

ネットワークのハブとしての魅力創造を発揮する劇場

情報・人材の交流、公演の連携

・県内外ホール・芸術文化団体とネットワーク事業、民俗芸能祭

(県内市町連携:ハイライト・コンサート、シーズン・オープニング・フェス)

(関西劇場、芸術団体連携:普及系プロデュースオペラ)

(全国劇場:共同制作オペラ、音楽・演劇公演の提携)

・人材育成事業

(長期研修受入(学生・劇場関係者)、大学との連携)

アウトカム

- ・地域拠点劇場として、にぎわいづくりの核となる
- ・次世代人材育成

withコロナ、afterコロナ

感染症や建築等の専門家の監修を受けながら感染拡大予防ガイドラインに基づく公演等の実施。安心・安全・快適な公演環境(鑑賞者・出演者・スタッフにとって)モデルの再構築・提示  
感染拡大防止・感染リスクの軽減、インターネット配信等

## (2) 令和5年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「ドン・ジョヴァンニ」	7/14(金)～23(日)	[指揮]佐渡裕(芸術文化センター芸術監督)[管弦楽]兵庫芸術文化センター管弦楽団	目標値	11,945
		兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール		実績値	14,409
2	佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「ドン・ジョヴァンニ」ハイライトコンサート～ええとこどり!	4/19(水)20(木)23(日)29(土)5/3(水・祝)6(土)7(日)14(日)	[出演]下林一也(バリトン)白石優子(ソプラノ)他 [舞台監督]芸術文化センタースタッフ	目標値	3,840
		兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール_他 県内ホール		実績値	4,003
3	佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「ドン・ジョヴァンニ」ワンコイン・プレレクチャ	①5/25(木) ②6/16(金)	①[講師]根本卓也(指揮者、チェンバロ奏者)②[講師]井内美香(オペラ・キュレーター)	目標値	2,720
		兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール		実績値	3,132
4	(中止)			目標値	
				実績値	
5	オペラプロジェクト2024「卒塔婆小町」/「赤い陣羽織」	2/10(土)11(日)	[指揮]牧村邦彦(大阪音大教授)[演出]茂山千三郎(狂言師)[出演]並河寿美_他	目標値	1,040
		兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール		実績値	1,182
6	兵庫芸術文化センター管弦楽団シーズン・オープンニング・フェスティバル	9/1(金)～3(日)	[指揮・芸術監督]佐渡裕 [管弦楽]兵庫芸術文化センター管弦楽団	目標値	830
		洲本市文化体育館		実績値	838
7	兵庫芸術文化センター管弦楽団小学校・特別支援学校へのアウトリーチ	5/15(月)6/21(水)22(木) 12/6(日)7(水) 1/17(水)18(木)	[概要]芸術文化センター管弦楽団有志による小学校と特別支援学校アウトリーチ	目標値	500
		県内小学校・特別支援学校		実績値	1,435
8	ひょうご能『船弁慶重キ前後之替』	9/24(日)	[出演者]上田拓司(西宮市在住)福王和幸(西宮市出身、重要無形文化財保持者)	目標値	400
		兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール		実績値	540
9	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル♪	5/5(金・祝)	[概要]宮川彬良と各オーケストラの首席奏者8名による本格的クラシックコンサート。	目標値	1,107
		兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール		実績値	964
10	世界音楽図鑑 ワールド・ミュージック・シリーズ 2023	7/12(水)9/18(月・祝)10/22(日)12/1(金)1/20(土)	[概要]世界各地の民族音楽やパフォーマンスを紹介する人気シリーズ。	目標値	1,970
		兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール_他		実績値	2,359
11	クリスマス・ジャズ・フェスティバル 2023	12/6(水)8(金)12(火)14(木)21(木)24(日)	[概要]毎年12月にHyogoクリスマス・ジャズ・フェスティバルとして実施。	目標値	5,085
		兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール_他		実績値	5,899
12	ステップ・シリーズ 世界音楽図鑑 ワールド・ミュージック・シリーズ 2023「小松亮太(バンド・材)昭和タコ・プレ	10/22(日)	[概要]若年層を中心としたファン拡大に資する入門的な公演を実施。	目標値	1,630
		兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール		実績値	1,967

13	河村尚子 シューベルト・プロジェクト～河村尚子&アレクサンドル・メルニコフ～	11/17 (金)	[出演者]河村尚子(西宮市出身)、ホル・シューベルト・プロジェクト最終回(3~5年度実施)	目標値	365
		兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール		実績値	406
14	ワンコイン・コンサート	4/18(火)5/16(火)6/22(木) 8/18(金)9/12(火)曜(火) 10/17(火)11/22(水)12/14(木)2/20(火)3/6(水)	[概要]ワンコイン(500円)公演時間は正午前後の1時間、関西若手演奏家による。	目標値	14,000
				実績値	18,458
15	ワンコイン・コンサート No.1アーティスト2022	3/19(火)	[出演]前年度のワンコイン・コンサートで最も反響の大きかったアーティストによる公演	目標値	360
		兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール		実績値	401
16	なるほどバックステージツアー2023	5/17(水)8/30(水)9/27(水)・28(木)10/31(火)11/28(火)1/24(水)	[概要]照明・音響の設備操作ができる体験型の企画。劇場への親しみを醸成	目標値	800
		兵庫県立芸術文化センター各ホール		実績値	765

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
<p>事業計画に必要な構成要素が有機的に連関し、当初の予定通りに事業が進められているか。</p> <p>兵庫県立芸術文化センターは、阪神・淡路大震災からの『心の復興・文化の復興』のシンボルとして設置。劇場に来館し、舞台芸術という非日常を楽しみ、気持ちを新たに日常生活を楽しむ『舞台芸術を通じて人とまちを元気にする』ことをミッションとし</p> <p>①コロナ禍での舞台芸術の継続の模索（劇場空間での鑑賞による感動の提供・人とのつながり）</p> <p>②開館 20 周年に向けたにぎわいの安定・継続（人生を通じて楽しめる劇場空間の創出）を掲げ、地域の特性・ニーズと芸術文化センターの強みを十分に生かした、ひょうご「心の広場」ステップアッププロジェクトを実施。</p> <p>(1) 年間主催公演数 335 公演（目標 300 公演）                      (2) 年間ホール稼働日数 339 日（目標 300 日）</p> <p>(3) 年間公演入場者数 45 万人（目標 50 万人）                      (4) 主催公演入場率 92.2%（目標 88%）</p> <p>(5) 主催公演満足度 98.1%（目標 95%）</p> <p>当初の予定通り公演を実施。来館者数はコロナ禍前の約 8 割まで回復。コロナ禍の影響を受けつつ、劇場が県民の心の拠り所として、劇場を通して人と人との絆をつなぐ事に寄与、にぎわいの安定・継続に寄与。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p> <p>専門性のあるホール（施設）、専門性をもった人材（劇場運営、アートマネジメント、舞台技術）によって地域のニーズに応えた事業・ニーズを掘り起こす事業を実施。また、国際レベルを向上する事業を実施し、人材育成（基盤整備：若手出演者への出演機会提供、地元人材活用、他館との連携によるスキルアップ）に努め、下記の各事業の達成状況より助成に値する文化的、社会的、経済的意義が継続して認められる。</p> <p>1. 国際水準の創造公演を通じた世界への発信（文化的意義）</p> <p>「佐渡芸術監督フェスティバル」は、世界トップレベルのキャストやスタッフの招聘により、兵庫から世界に向け、国際水準の芸術性を備えたホール公演を実現し、我が国の実演芸術の国際レベルに貢献。ホール鑑賞機会の少ない関西圏域において、質の高い公演を低価格で実現し、ピギナーとリピーターを年々拡充。「普及系フェスティバル」と共に、出演者、スタッフと地域人材の積極登用を図り、地域人材の育成、地域経済へ貢献。複数の感染症専門家の監修を仰ぐなど、感染拡大防止に最大限配慮しながら実施。関連イベント（フレクチャー、県内各地で実施のハイライトコンサート等）も合わせてホールプロジェクトとして展開し、まちのにぎわいを創出。</p> <p>2. 人材養成事業を通じた地域や世界への貢献（社会的意義）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・専属管弦楽団（通称：PAC）の設置は持続的な創造活動を支える柱であるとともに、アカデミー機能として世界に向けて優秀な人材を輩出することで、国際レベル向上を発揮。県内各地域で行う「シーズン・オブ・ユング・フェスティバル」は、地域の音楽文化の熟成と地域のにぎわい作りに寄与するもとともに、県内文化施設スタッフのスキルアップに貢献。「小学校・特別支援学校アクトリー」を実施し実演芸術の魅力を届けていく活動を展開。</li></ul> <p>3. 普及事業を通じた地域のにぎわいづくり（経済的意義）【資料 1】経済波及効果、【資料 2】住みたい街ランキング</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・世界各地の音楽をシリーズで紹介「世界音楽図鑑」、兵庫県ゆかりの演目や人材を古典芸能で取り上げ、地域の魅力を再発見する「ひょうご能」など特色あるコンテンツの提供で、県民の幅広い期待に応えた。</li><li>・低価格で親しみやすい事業（「ワンコインコンサート」等）を実施し、広範囲な観客を招き、舞台芸術ファンの裾野拡大と若手演奏家への演奏機会の提供による人材育成を図った。また、コンサート終了後には多数の来館者が周辺の商業施設を回遊し、消費活動を活発化させるなど、経済波及効果に大きく貢献。（経済波及効果：県内 71 億円/年間継続、関西住みたい街ランキング 2023_1 位）。また、助成対象外事業ではあるが、社会包摂プログラムの実施、芸術文化観光専門職大学の実務研修の受入等、将来を担う人材の育成にも積極的に取り組んだ。</li></ul>

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成し、アウトカムの発現は可能か。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行したことを受け、過年度に培った感染拡大防止に配慮しながらも、概ねコロナ禍前に近い公演数を実施し『コロナ禍(コロナ後)の舞台芸術の継続』『開館20周年に向けたにぎわいの安定・継続』の目標達成。県民が劇場で舞台芸術に接する機会を積極的に提供。以下の事業遂行の結果(アウトプット)により事業成果(アウトカム)が発現している事が認められる。①世界水準の監督プロデュースをはじめとする多彩な舞台芸術を、多くのファンに支えられながら実施し、高い運営実績を継続、②地域における『質の高い』創造芸術の発信を継続(創造性、企画力が高く特色ある実演芸術の継続発信)、③親しみやすい良質な公演など『幅広いニーズ』に応える公演を継続発信(子どもたち(次世代)へのアプローチなど裾野拡大)④専属管弦楽団運営やアーティスト研修、若手演奏家の登用など優秀な人材を継続的に養成⑤県内劇場とのネットワーク、県外劇場と連携、地域舞台芸術団体へ支援を継続実施

a トップレベルとしての実績の継続(芸術とつながる)

⇒芸術文化センターが発信するソフトへの支持・信頼・ブランド確立、我が国の実演芸術の水準向上と県民の鑑賞機会拡大

【指標】高い運営実績 年間主催公演数(R5:335)(目標300)、年間ホール稼働日数(R5:339日)(目標300日)

高い集客力 年間公演入場数(R5:45万人)(目標50万人)、プロデュース入場者数(R5:14,409人)(目標1.2万人)

熱心な支持層の形成(10回以上のリピート率R5:61.4%)(目標61%)、新しいファンの発掘(初めて来場者率R5:8.6%)

(目標8%)、県外観客比率\*関西の拠点館として県外への拡大(先行予約会員)(R5:42%)(目標45%)

質の高い公演 主催公演入場率(R5:92.2%)(目標88%)、主催公演満足度(R5:98.1%)(目標95%)

\*主催公演数をはじめ概ね目標を達成。コロナ禍から脱却し更なる舞台芸術公演への実施に向けて始動。

b 県民生活の質的向上、芸術文化を通じた地域創生の推進(地域社会とつながる)

【指標】街のイメージ向上、関西住んでみたい街ランキング1位「西宮北口」(理由の一つ:公共施設の充実)【資料2】「仮想評価法」による社会的便益価値調査(2022年)\*利用価値だけでなく非利用価値の認知の維持(兵庫県民が芸術文化センターに対して感じる社会的便益は前回調査(2009年)に比べて倍増「子や孫など、将来世代に必要」「地域の魅力を高める」といった理由が挙げられている【資料3】

兵庫県民意識調査「兵庫の豊かさ指標」(阪神南地域)【資料4】「住んでいる地域に愛着や誇りを感じる人の割合」(R5:71.9%)(目標69%)「お住の市・町では、芸術文化に接する機会があると思う人の割合」(R5:37.8%)(目標43%)

c 劇場を核としたまちのにぎわいの創出(地域社会とつながる)

⇒劇場運営による経済波及効果及び地域経済活性化の促進(経済波及効果(H27) 県内71億円、全国149億円)

【指標】にぎわい創出 イベント実績数・参加者数(R5:702回、45.8万人)(目標700回・50万人)

経済波及効果 生産誘発効果、劇場周辺商業動向 10周年(H27)高水準を維持⇒開館20周年(R7)に調査予定

d 世界に人材を育て発信するアガミ機能の充実(人と人とのつながり)

⇒実演芸術におけるスペシャリストの育成、兵庫から世界に向けて優秀な人材を発信(管弦楽団卒団生の他オーケストラ入団)

【指標】専属管弦楽団メンバー 卒団者数(26か国90楽団(国内31楽団)153人)(R7迄目標154人)【資料5.6】

若手演奏家実績\*ワコソウコンサート出演者からセンター主催事業の出演数(R4:10人)(目標8人)、受賞(R5:1人)【資料7】

e すべての県民が芸術文化を通じ、心の豊かさを実感できる社会の実現(地域・世代を超えたつながり)

⇒お客様の裾野拡大、劇場のにぎわい進化【指標】初めて鑑賞者継続拡大(初めて来場者率)(R5:8.6%)(目標8%)

f 地域の拠点劇場として地域文化振興の核となる(地域社会とのつながり)

⇒芸術文化を通じたにぎわいづくりを全県に伝播し、文化振興の核となる(県内展開実績)

【指標】管弦楽団(PAC) 県内施設・団体と連携公演(R5:5公演、目標5)、県外劇場・団体との連携(R5:11公演)

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

1年間(4月~3月)を通じたラインナップを編成(管弦楽団は9月~8月のシーズン制)し、佐渡裕芸術監督プロデュース(7月)とともに、幅広いニーズに対応した多彩・多様な事業展開を計画通り継続して実施。令和5年度は、定期的に行っていた感染症専門家の研修(4月\_職員・委託業者28名参加)を最終回として実施。感染拡大防止に最大限配慮し全16事業中15事業を実施。※1事業(Cutting Edge KYOGENは事業単位の下限額を下回った為対象外)

事業期間は適切で、当初の計画通りに進んでいる。

事業期間にアウトプット(有効性で掲出)を着実に算出しており、『コロナ禍(コロナ禍後)の舞台芸術の継続』『開館20周年に向けたにぎわいの安定・継続』という目標に沿って運営を行っている。

コロナの感染拡大防止に最大限配慮しながら、お客様(県民)が一日でも早く劇場で生の舞台芸術に接することができる機会の提供をめざし、令和2年6月より「Meet-HPAG リサیتالホールから」としてオンラインリサیتالシリーズ(無観客、映像配信)、「オーケストラ公演の再開に向けて~ディスカッションとデモ演奏~」(関係者限定公開、映像配信、演奏者間の距離確保、アクリル板パーティション設置による演奏試行)と様々な取り組みを実施した事が、劇場からの来場者離れの抑制、コロナ禍後の劇場回帰への早さ(主催公演入場率(券売率)R5:92.2% ※H30:90.0%、R2:82.6%)に貢献している。これらの取り組みは、本助成金(令和2年度総合支援事業対象事業)を財源として実現した。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

令和5年度はコロナによる影響はなく事業を実施出来た。券売努力による入場料収入の増、助成金の獲得等によって当初より収入は増加した。鑑賞者により良い舞台芸術を届ける為、作品の質の向上を図ったところ急激な物価上昇、円安(為替)の影響を受け、当初より支出も増加したが、消耗品経費の見直し等その他経費を最大限切り詰める努力を実施し事業への影響を最小限に食い止めた。

予算と決算の差は、収入19.2%の増、支出18.8%の増となった。事業費は適切であり、当初の計画通り進んでいる。

※過年度は飛沫感染防止を図る距離の確保の為、一部公演で前方席の販売を停止していた

※過年度はPCR検査延べ3,300回実施、手指消毒の徹底等に関する経費が必要となっていた。

#### 【令和5年度】

当初予算(収入): 204,097千円

決算(収入): 243,195千円

・決算は当初予算に対して19.2%増となった。

当初予算(支出): 330,865千円

決算(支出): 392,977千円

・決算は当初予算に対して18.8%増となった

## (4) 創造性

### 自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている（と認められる）か。

芸術文化センターは「劇場はみんなの広場」として人々が元気で輝き続ける劇場であり続けることが出来るよう、開館以来、まちのにぎわいを創出するとともに、県内ホールとのネットワークによる活動展開を図りながら、県民生活の質的向上・社会的課題解決・地域創生の一翼を担っている。

当センターは、独創性、新規性、先導性に優れた事業を実施する為に、芸術監督等の舞台芸術経営のプロフェッショナルを配置し（芸術監督：佐渡裕（指揮者）、運営責任者：事務局長（行政）、舞台技術陣）、佐渡監督のからの様々な提案等を、公の施設として副館長が適正にマネジメントし、職員はじめ専門劇場の舞台技術陣と調整し、現場と直結した迅速な意思決定、即断即決解決型の体制を特色としている。

当センターの事業計画の中で代表的な事業である佐渡裕芸術監督企画によるプロデュースオペラは、毎年、世界水準のオペラを全国的に稀なロングラン上演（8公演）する取組み。令和5年度は「ドン・ジョヴァンニ」（夏のプロデュースオペラシリーズ）でのモルタル“四大オペラ”の締めくくりとして実施。クリエイティブスタッフやスタッフに国際的に活躍するトップクラスの人材を招聘し、日本・海外の出演者、スタッフが一体となって作品を創り上げ、世界に通じるクオリティの作品を上演。専属楽団のPACオーケストラ演奏、センターのソフトとハードを最大限に発揮し、メトロポリタン歌劇場元首席演出家デヴィッド・ニース演出により美術、衣装、装置、照明のすべてが一つになって進行する総合芸術としての舞台（オペラ）を制作（新規性）。また、本公演を核とした地域の一大イベントとして事業を展開（独創性）。各地域でのオペラ鑑賞ファンの広がり、継続した公演要望に応じて、本公演実施前に、①ハイライトコンサート：県内7市町8公演を実施、②プロレクチャー：専門家の講師による上演鑑賞に役立つ予備知識を紹介することで舞台鑑賞力向上に貢献、③館内の展示コーナー「ホック」（無料鑑賞スペース）で、関連資料・写真を展示し、初めて鑑賞する方々にも、より解りやすく親しみやすい内容とし、オペラ公演を盛り上げる、④公開リハーサル：最終総稽古（ゲネプロ）を、お客様役でオペラ舞台の制作過程を共有体験する機会を提供、⑤オペラ前夜祭イベント：公演初日の前日、芸術文化センター前の高松公園にて、地元商店街等『西北活性化協議会』や地元学生等との共同企画により実施し、街全体でオペラ公演を盛り上げ、より多くの住民が気軽にオペラに親しむ機会を提供し、地域の魅力アップ、まちのにぎわい作りに貢献している。

さらに、事業の独創性、新規性の大きな特色が、創造集団としての専属管弦楽団である。芸術的責任と権限を有する「芸術監督」の下、オペラでの演奏、県内劇場とのネットワーク形成（県内外での公演）、小学校・特別支援学校アクトリチ活動、シーズン・オープニング・フェスティバル（市町ホールでのアクトリチ、公演）などのパブリックシアターにふさわしい多彩な活動を展開し、地域における音楽文化の発展に寄与している。

また上記以外の独創性の高い事業として、「ワコイン・コンサート」とその翌年にお客様からの反響（アンケート）によりアーティストを選出する「ワコイン・コンサート No.1」、「なるほどバックステージツアー」をはじめとする劇場への来訪への敷居を低くする普及啓発公演（低料金で親しみやすい良質な公演）、当センターへの複数回来訪（リピーター）を促す「世界音楽図鑑ワールド・ミュージック・シリーズ」、「クリスマス・ジャズ・フェスティバル」、「ステップ・シリーズ」、「宮川彬良こどもの日コンサート」の特色ある人気シリーズ企画を展開している。

コロナ後においても、感染予防を徹底しながら、舞台芸術の継続を模索し、公演を継続実施。親近感と期待感を感じる劇場として、また、子どもたち（次世代）へのアプローチにより、広範囲な集客を招いている。演奏会終了後には、多数の来場者が当センター周辺の商業施設を回遊し、飲食や物品サービスの購入等により消費活動を活性化させるなど、地域のにぎわいづくり、経済波及効果にも大きく貢献している。



## 自己評価

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながっている（と認められる）か。

### 国内外での評価 ～栄誉ある評価～【主な受賞】

- ・関西元気文化圏ニューワーク賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H19. 1. 11 関西元気文化圏推進協議会]
- ・関西元気文化圏賞特別賞 [H23. 1. 20 関西元気文化圏推進協議会]
- ・地域創造大賞（総務大臣賞） [H23. 1. 21 (財)地域創造]
- ・神戸新聞平和賞「佐渡裕と兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H23. 5. 3 (株)神戸新聞社]
- ・関西元気文化圏賞 10周年記念特別賞「佐渡芸術監督」[H25. 1. 22 関西元気文化圏推進協議会]
- ・ミュージック・ペンクラブ音楽賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H29. 4. 24 ミュージック・ペンクラブ・ジャパン]

### 【海外からの評価】

- ・2012年芸術監督プロデュースオペラ「トスカ」で、芸術文化センターが制作したプロダクション（演出、舞台装置、衣装、照明、映像）により、トリノ立歌劇場で、2016年2月から10公演上演され、ボローニャ劇場で2017年12月8公演上演された。国内制作されたオペラプロダクションが海外、中でもヨーロッパ有数の名門歌劇場の本公演として上演されることは極めて稀で（日本オペラ史上初）芸術文化センター制作のオペラ水準の高さ（国際レベル）を示すとともに、海外の実演芸術団体とのつながりを、より一層向上。
- ・2022年芸術監督プロデュースオペラ「ラ・ボエーム」で、海外オーディションより選抜された若手出演者2名（リカルド・デッラ・シウカ、グスターボ・カルティエリ）が、新国立劇場2023/2024シーズンオペラ「椿姫」に出演し高評価を得ており、芸術文化センターの若手発掘への慧眼の高さを示している。

### 1. 世界に向け発信する国際水準の創造公演

- ・佐渡芸術監督企画によるプロデュースオペラ  
(現代まとう新たなモーツァルトが 兵庫芸文の「ドン・ジョヴァンニ」2023. 7. 16\_朝日新聞【資料8】)  
(佐渡裕指揮「ドン・ジョヴァンニ」作品の深み未来を照らす\_2023. 8. 4\_日本経済新聞【資料9】)  
(兵庫芸文佐渡裕指揮の「ドン・ジョヴァンニ」オペラの歓び、ここにあり\_モストリークラシック10月号【資料10】)

### 2. 地域や世界に向けた人材養成

- ・創造集団である楽団の設置・運営は、芸術文化センターが掲げるミッション遂行のための強みであり、持続的な創造活動がコア機能として世界に向けて優秀な人材を輩出し、国際レベル向上に貢献。
- ・物価高騰、円安が続く中、国内外から若手演奏家を集め、育てる兵庫の独自性を維持する為にクラウドファンディングを実施。
- ・県内各地域で行う「シーズン・オブ・ニガ・フェスティバル」は、演奏会の他にも芸術監督による地元中学生への公開マスタークラス、楽団アクトリチ、公開リハーサルの実施等の地元住民との交流を通じて、地域の音楽文化熟成とにぎわいづくり、県内市町村文化施設スタッフのスキルアップに貢献。  
(劇場と竹が一体、地元で愛されているのが分かる」2017. 10. 7\_神戸新聞【資料11】)  
(唯一無二の楽団「PAC」2021. 9. 16\_産経新聞【資料12】)(つなぐために\_2023. 10. 25\_毎日新聞【資料13】)(R5\_楽団クラウドファンディングチラシ&お礼 (HP掲載)【資料14】)

### 3. 地域との連携

- ・阪神淡路大震災からの復興のシンボルとして開館した芸術文化センターを核として、地元商店街等による「西北活性化協議会」を設立し、地域と連携したにぎわい創出のイベントを実施。5月で10回が5類扱いとなり、ポストコロナと芸術（劇場）の位置づけについて。地域協働・地域密着の劇場として。  
(「復興の象徴」2015. 8. 21\_朝日新聞【資料15】)(「人々の「心の広場」に2022. 9. 8\_産経新聞【資料16】)  
(「西北の夏の風物詩」2022. 7. 18\_神戸新聞【資料17】)

## (5) 持続性

### 自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

阪神・淡路大震災からの創造的復興、文化復興のシンボルとしてこれまでの運営で蓄積してきた施設の強みや特色を発揮し、設置者である兵庫県と連携し安定した運営基盤の確保を図り、地域特性やニーズへの対応を前進させ、事業計画を通じて“兵庫県芸術文化振興ビジョンの実現”“芸術文化立県ひょうご”に向けた歩みを進めている。

「組織」「資金」「ネットワーク」の中長期的安定・維持の為に次の仕組みで運営。

・多彩で魅力ある舞台芸術の創造発信とともに、安全・安心・快適な劇場空間、適正で効率的な劇場運営を支える体制を構築

・優秀な人材の確保・育成（継続雇用）を図りながら、円滑な世代交代を実施。有期雇用者の中からプロパティに選抜し、正規雇用率の引き上げを実施（H17\_7割→R3\_6割→R8\_7割）。

・女性の積極的な採用を実施し、女性の管理職比率30%以上。副館長はじめ4部長のうち2部長が女性による。

・県費（指定管理料、補助金）をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応える、メニューの充実、舞台のグレードアップ、公演数維持、ネーミングライツ、賛助会員（地元企業の応援）の獲得・継続努力、各種公演ごとに協賛金、民間助成金の獲得・継続努力を実施。

・R5年度は兵庫芸術文化センター管弦楽団（専属楽団）の運営費（ア카데미機能維持）に充当する為、初のクラウドファンディングを実施し、10,331千円（573名）の支援獲得。（芸文センターHP【資料17】）

・ホライズライトコンサート、楽団シーズン・オープニング・フェスティバルを県内施設で実施し、芸術文化センタースタッフによるステージマネジメントの支援や様々な角度での交流を行い、市町文化施設職員のスキルアップに貢献。また、他の文化施設からの研修生受け入れを実施。

・委託業者とのミーティング（週1回）、経営会議（月2回）等による部門間の総合調整、運営委員会（年1回）に中長期的方針を決定。安定した事業実施の為に、施設・設備の適正なメンテナンス・改修計画を策定、実施。

持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

事業成果（アウトカム）「芸術とつながる、地域社会とつながる、人と人とのつながり、地域・世代を超えたつながり」を設定し、事業成果（アウトカム）を達成する為の事業を①国際水準の創造発信（質）、②人材養成（人）、③舞台芸術の普及（ひろがり）、④ネットワークの形成（連携）、⑤全体に共通する視点として感染症対策（withコロナ、afterコロナ）の視点から設定。

各事業を遂行することで求められる事業遂行の結果（アウトプット）「高い運営実績の継続、質の高い創造芸術の発信継続、幅広いニーズに応える公演を継続発信、優秀な人材を継続養成、県内外劇場とのネットワーク強化、地域舞台芸術団体の連携・支援、大学等との連携、感染予防対策の徹底、地域人材・組織の活用・支援」を設定し、事業成果（アウトカム）を導くための目標を設定。

新型コロナウイルス感染症収束によって、事業は期間・予算共に適切に実施し、目標を達成していることにより、事業成果（アウトカム）の発現・定着についても期待できる。